

2018年 第138号

# うはらの風

特別養護老人ホーム セ・ラ・ヴィ (施設・短期入所・訪問介護)  
東灘在宅福祉センター (通所介護・地域包括支援・居宅介護支援)  
住吉南町デイサービスセンター (通所介護)・ポトピア保育園  
〒658-0053 神戸市東灘区住吉宮町3-4-17  
TEL 078(811)2344  
ホームページ <http://www.nipindoshinkai.or.jp>

秋号

街路樹も色づき、秋の訪れをしっかりと感じる今日この頃。

今回の『うはらの風』では、9月17日に開催いたしました「二人同心会 敬老会」のご報告をさせていただきます。

去る平成30年 9月17日(月祝) 当法人にて敬老会を開催いたしました。

法人の恒例行事のひとつにあたりますが、とりわけ我々、高齢福祉に携わっているものとしては、年中行事の中でも最大限に重要なイベントとなります。毎年、趣向をこらしてイベント内容を考えるわけですが、4年程度前からは、当法人理事長 三木より表彰状や記念品をご利用者様へお渡しする記念式典を実施しております。

今年度の表彰対象者ですが、当イベントの計画から開催までを行事部会で管轄させて頂いており、行事部会議にて検討の結果、『人生100年時代』をキーワードに、特養セラヴィ・ショートステイ・東灘デイサービス・南町デイサービスをご利用頂いている100歳ひとつ前の99歳の方を対象とさせていただく事といたしました。 ※99歳の方が、いらっしゃらない場合は、最高年齢者。



- 今年度の表彰式の模様です。東灘デイサービス・南町デイサービス・特養セラヴィ入所および短期ご利用の方、併せて5名の方の表彰です。皆様、驚きながらも満面の笑みを浮かべていらっしゃいました。三木より ご長寿の秘訣を尋ねた際には、“よく食べる事 よく笑うこと!!”とお答えいただきました。我々も参考にさせていただければと思います。いつまでもお元気でお過ごしください。

第一部は記念式典で閉幕し、第二部といたしましては、地域のボランティアさんによる合唱・合奏をご披露いただきました。会場にいる皆様で、ひとつになって歌ったり、生演奏の調べを聴いたりとは違う時間の過ごし方による良い効果で、いつも以上に皆様お元気な表情を浮かべていらっしゃいました。



敬老会を振り返り、表彰させていただいた方々からお答えいただいた秘訣「笑うこと・声を出すこと・よく食べること」は、健康のみならず、より良いケアにも通することかとも思います。我々、職員も実践していかなばと強く感じました。来年度も引き続き、ご利用頂いている皆様をどのようにお祝いさせていただこうかと、行事部会職員一同で検討してまいります。これからも、二人同心会を よろしく願います。

二人同心会 行事部会 桂(かつら)より

## ●広報部よりお詫び

誌面変更により当法人広報誌「うはらの風 秋号」の発行が大幅に遅くなり、心待ちにされていた皆様方にはお詫びいたします。以後、このような遅れがないよう努めてまいりますので、引き続き、よろしくお願いいたします。 広報部会より



# ボランティアさん紹介

昨年の秋号に続き、日々、ご協力いただいておりますボランティアの皆様のご紹介。第2弾です。

## 東灘在宅福祉センター

### アロハ・オハナ・おたまじゃくし



毎月1回演奏に来てくださいます。  
ハワイアンを中心に、高齢者施設での演奏時は昔ながらの曲を選んで演奏していただきます。  
2007年7月の結成。9名のメンバーで、月3~4回練習しているそうです。  
「元気のあるうちは続ける」との意気込み！ご利用者様も楽しみにしているのでよろしくお願いします(^\_^)

### 吉竹 恵子さん



月曜日の午前中、利用者様のお茶出しや洗い物。お話相手に来てくださいます。  
ご主人が亡くなったのをきっかけにボランティアに来てくださいました。  
「自分の為にやっています！ここに来ると気持ちが前向きになる」といつも笑顔で利用者様はもちろん、職員も癒されています(\*^-^\*)

### 菅 弘子さん



毎月第1・4木曜日の月2回、お習字のボランティアに来てくださいます。  
10数年前に、来てくださったことがあったのですが、その時は続けて...  
というのは遠慮したそうです。  
月日は流れ...。3年ほど前から定期的に来て下さるようになりました。  
利用者様も楽しんで参加され、職員も利用者様の達筆ぶりに驚かされます。

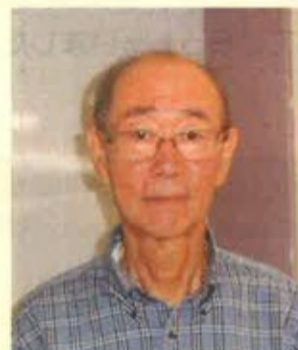
## 特養セ・ラ・ヴィ

### 藤原 美也子さん



セラヴィに来たきっかけはこの地域包括センターの方に声をかけて頂いたのが最初です。  
当初は一日フルで色々させていただいていましたが、徐々に時間は減らしています。  
ここに来て食事を食べた後みんながあまりに静かなのが気になりピアノを弾かせてもらうようになりました。  
音楽で少しは楽しんで頂けたらと思っています。  
健康でここに来てさせてもらっているのも何かの縁だと思います。これからも体調の続く限りよろしくお願いします。

### 臨水 信さん



Q: ボランティアを始めたキッカケは...?

A: ボランティア研修を受け、施設で2日程、研修をしました。  
その後、社協から「実習先で(傾聴)ボランティアをやってみないか?」との話があり。そこで、2~3カ所の老健施設等で「傾聴」をやってみました。

Q: ボランティアの長続きの秘訣

A: 私自身「人の話を聞くのが好き」と言う事だろうと。話し相手が変わっても「傾聴」そのものは変わりません。傾聴ボランティアは初めてでしたが、人の話しを聞くことが好きなので、相手が変わってもボランティアそのものが続いているのだと思います。



これからもよろしくお願いします。

ご寄付・ご寄贈  
ありがとうございました

水嶋正様家族 水嶋一浩様・平野鉄之進様家族・福永秀夫様家族・君澤シズエ様家族・垣内敏子様家族・奥田志恵子様家族・(株)ケアフードサービス様  
三井蓉子様家族 西村惇子様・数元シゲ子様・山村陽子様・深山喜与様・平安祭典様・中寫みどり様家族・井上サダ子様家族